

1. 学校関係者評価実施日 …令和3年3月28日 9:30～11:30

(今年度は新型コロナ感染拡大防止のため、1回あたりの人数を制限し、複数回に分散して実施した)  
はじめに、休校期間中や分散登校期間中も含めた今年度の取り組みに関して、概要の報告を行った。  
あわせて、今年度前期アンケート分析結果および後期アンケート集計結果をお渡しした。本園の今年度の取り組みに対するご意見を求めた。

2. 評価者名 …山本寿代, 他 (PTA 関係者)

3. 評価結果

【大項目】

I 教育活動に関するもの

- ・コロナ禍で、運動会やマーチングフェスティバルなど保護者観覧について など 保護者からいろいろな意見も聞かれたが、感染拡大防止を最大限に考慮した上で、子ども達の成長を見せてもらえる機会となるように取り組んでもらえた。
- ・コロナ禍で頻りに園の様子が見れない中、毎月のえんだよりやクラス便りにて、沢山の写真に合わせて日常の様子を書いてもらえて園での様子が伝わって安心出来た。
- ・毎日の降園時間でのコールでも日々の様子が伝えられるので安心出来た。

【中項目】

(1) 教育目標・教育計画

- ・毎日の生活の中で、他学年と遊んだり、お世話をすることによって思いやりや助け合いを学んでくれている。また、園庭や棚田での外遊び野中で植物や生き物などに触れ合い、心身共に成長する機会がたくさんあった。
- ・年長児には、小学校の教室にて日頃から知っている先生に体験授業をしてもらい、小学生になることがさらに楽しみになる機会になったように思う。一貫校ならではの素晴らしいところだと思う。

(2) 教科指導

- ・うきうきタイムや中高サッカー一部の先生が指導して下さって、身体を動かす事も重点的に行われていた。一方で毎朝漢詩を読み上げたり、礼法を経験したりと和の精神を学び知識や教養もしっかりと育てていた。どちらかに偏ること無く、子ども達の日常に組み込まれていた。